

京 企 号
平成 20 年 10 月 16 日

国土交通省道路局長 様

京極町長 山 崎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のありました、標記の件につきまして、別紙のとおり提出いたしますので、よろしく願います。

(企画振興課企画調整係)

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

北海道京極町

北海道は広大な大地に市町村が点在する広域分散型社会を形成しており、貨物の輸送手段、人の移動手段の90%以上が自動車交通によるもので、北海道横断自動車道黒松内・小樽間の整備は地域住民の暮らしや経済活動に大きな影響力があります。また、緊急を要する病人を管内各町村から小樽市や札幌市などの高度医療機関に搬送するような場合には、高速道路の有無が搬送時間の差につながり、直接、生命に結びつくこととなりますので早急な整備が必要と考えます。

○現状

町の交通は、昭和61年に国鉄胆振線が廃止されてから自動車交通が主となり、倶知安町まで約20分、札幌市まで約1時間50分、新千歳空港まで約1時間40分の距離にあります。

また、町民の通勤・通学、通院、買い物など日常生活の交通手段として民間バスが運行しています。

道路は、国道1路線(276号)、道道5路線(豊浦京極線、京極定山溪線、京極倶知安線、黒橋京極線、京極停車場線)が広域ネットワークを形成し、町道152路線が各地区の生活、産業をつないでいます。

○課題

今後、一定の整備が完了している国道については、年々大型貨物自動車の通過交通量が増加傾向にあることから、交通安全施設の充実を図る必要があります。また、道道については、主要道道京極・定山溪線の未開通部分の早期着工や各道路の老朽化の激しい箇所についての二次改築の必要があります。

更に、積雪寒冷地のため冬期間の除排雪を行っているところですが、降雪量が多くすぐに歩道の通行が困難な状況になり、車道を歩いている歩行者が見受けられます。また、道幅も狭くなり車輛の通行にも影響がでている現状であり、円滑な交通確保のための除排雪強化や広域道路ネットワークとしての整備の強化・充実が必要であります。

国道、道道の二次改築が必要なか所、交通安全施設整備が急がれるか所については、迅速な整備を各関係機関に要望をします。町道については市街地内道路、集落道路を中心に計画的に整備を進め、快適・安全な質の高い道路環境づくりに努めます。

また、国道・道道・町道とも沿道景観の整備やバリアフリー化、冬期の凍結路面对策、交通安全施設の整備促進に努めます。沿道景観形成や安全でうるおい豊かな道路整備等については、町民、民間等、行政が連携した協働型道づくりと風景づくりを検討していきます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	北海道横断自動車道黒松内・小樽間の整備	北海道横断自動車道黒松内・小樽間の整備により、道内外の人流・物流をはじめ地域間交流の活性化や、観光・産業振興などが期待され、地域振興に果たす役割は大きい。また、救急搬送の場合、札幌などの高度医療機関への搬送時間の短縮が可能となる。	